

# アプリ名を入力して 爆速で起動する

タスクバーにピン留めしたアイコンは、**Win** + 数字キーで起動できます。しかし、このショートカットキーで起動できるのは10個までです。それ以外はどうすれば手早く起動できるでしょうか。

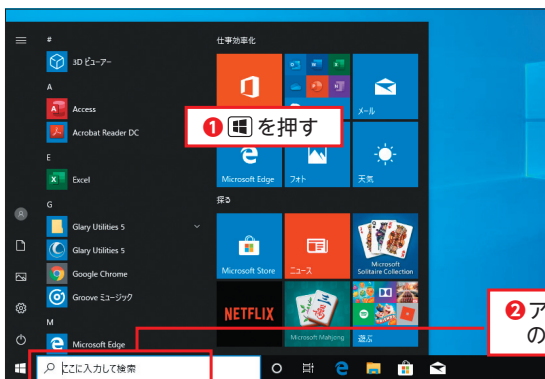


たいていのアプリは3~4回キーを押せば起動できる

前節で解説した、タスクバーからアプリを起動する方法は便利ですが、ショートカットキーが割り当てられるのは10個までです。それ以上のアプリをショートカットキーで起動したければ、別の方法を使うしかありません。しかも、4段目の数字キーを使うので、タイプしづらく感じる人もいます。

そんなときは、**検索機能を使って起動すると便利です**。古いバージョンのWindowsでは非常に低機能でしたが、最近の検索機能の性能は素晴らしく、**アプリ名の先頭の1文字を入力しただけでもよく使うアプリが候補として挙げられます**。起動したいアプリが検索にヒットしたら、あとは**Enter**を押すだけです。キー入力が高速なら、ぜひ試してみてください。**Win** + 数字キーより使いやすいく感じるかもしれません。

## ■ 検索ボックスにアプリ名を入力する



**Win**を押し (1)、検索ボックスにカーソルが点滅し始めたたら、起動したいアプリ名の最初の数文字を入力する (2)

2 アプリ名の最初の数文字を入力

## ■ 検索結果からアプリを起動する



1文字入力するごとに検索結果が絞り込まれるので、起動したいアプリが候補の先頭に表示されたら (1)、文字入力を中断して、[Enter] を押す (2)。なお、起動したいアプリが候補の2番目以降に表示されている場合は、[↑][↓] で選択してから [Enter] を押す

### Point



[Enter] を押して検索ボックスを使おうとすると、同時にスタートメニューが表示されます。「用もないのにスタートメニューが開くのはうとうしい」と思うなら、代わりに [Win] + [S] を押して検索ボックスを呼び出しましょう。



### COLUMN

#### アプリ名を素早く入力して起動をさらに高速化

アプリ名が日本語の場合、実は半角英字で読み（ローマ字）を入力して検索することもできます。たとえば「天気」アプリは「tenki」、「エクスペローラー」は「ekusupuro-ra-」で検索できます。この方法なら、英語入力モードになっている場合でもいちいち日本語入力に切り替える必要がなく、変換の手間も不要なので、アプリの起動をさらに高速化できます。

また、アプリの英語名を覚えておき、その名前の最初の数文字を入力して起動するという方法もあります。たとえば、「電卓」アプリは「calculator」、「カレンダー」アプリは「calendar」、「メール」アプリは「mail」、「天気」アプリは「weather」なので、それぞれ最初の数文字を入力します。



## ショートカットキーは覚えてはいけない!

パソコン仕事の時短といえば、とにかくたくさんショートカットキーを覚えることが必須だと思い込んでいる人もいるかもしれません。しかし、実は闇雲にショートカットキーを覚えても仕方がないのです。



### マウス操作を順次キーボードに置き換えていく

ショートカットキーが便利な仕組みであることは、言うまでもありません。マウスでメニューやリボンのあちこちをカチカチやるよりも、キー操作1つで済ませるほうがずっと簡単で、短時間に作業が終わります。そのため、「ショートカットキーを覚えて使いこなすだけで時短できる」と喧伝されることもあります。

しかし、本当にそうでしょうか。確かに、**Ctrl + C**のように**毎日頻繁に利用するものであれば、ショートカットキーによる時短効果は大きいですが、使用頻度の低いものまで覚えても時短には大して影響がありません**。あまり使わないショートカットキーを覚えても、同僚に自慢するくらいしかメリットがないでしょう。

また、キー操作を覚えたり思い出したりするのにかかる時間や労力も無視すべきではありません。使用頻度が低ければ、勘違いしてミスするリスクも大きくなります。「ショートカットキー至上主義」はパフォーマンスとしては否定しませんが、実務上はむしろ有害です。ただし、ショートカットキーを使うことそのものを否定するつもりはありません。時短につながるようなやり方で積極的に使っていくべきなのです。

問題は「どのショートカットキーを覚えるのか」に尽きます。これに対する答えはシンプルで、「よく使う操作に割り当てられたものから覚える」です。つまり、**毎日の作業で頻繁に行っているマウス操作があれば、それをキー操作に置き換えていく**のです。マウスであちこちのボタンをカチカチやっているのをショートカットキーで実行します。そうすると、ショートカットキーを覚えるまでの時間も思い出す時間も短くて済むでしょう。

## 毎日必ず使うサイトは すぐに開ける場所に置く

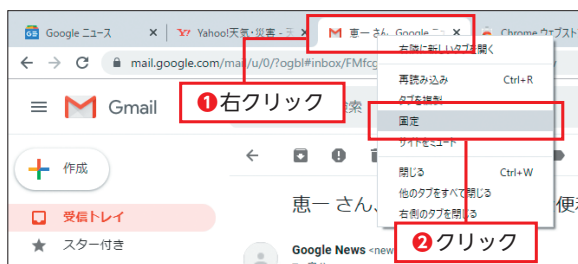
Gmailなど「毎日必ずアクセスし、ずっと開いたままにしておく」というサイトがある人は多いでしょう。そのようなサイトを毎回ブックマークの奥深くから開くのは時間の無駄です。もっと簡単な方法で表示しましょう。



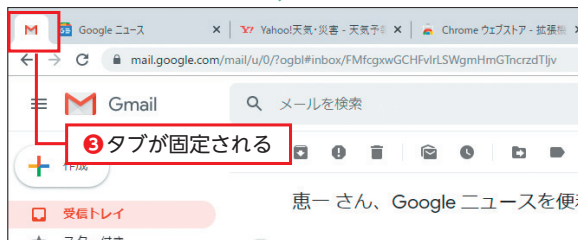
### タブの固定やブックマークバーを活用する

Chromeには、特定のウェブページを常に表示しておくための「タブの固定」という機能があります。この方法でタブを固定しておけば、**Chromeを起動したときに自動的に表示され、手動でアクセスする手間が省けます。**ただし、大量のタブを固定するとChromeを起動するたびに時間がかかり、メモリーの消費量が増えて動作が重くなってしまうので、特によく使うサイトだけを厳選して固定しましょう。

#### ■ タブを固定する



固定したいウェブページを開いた状態でタブを右クリックし(①)、[固定]をクリックする(②)。するとタブが固定され、タブバーの左端に小さなサイズで表示される(③)



# これだけはやっておきたい セキュリティの基本

業務で扱う重要な情報を保護し、仕事を滞りなく進めるには、セキュリティへの配慮が必須です。ここでは、パソコンを安全に使うために最低限押さえておきたい知識について解説します。



## ウイルスなどの脅威からパソコンを保護するには

パソコンを不正アクセスやマルウェア（ウイルスやスパイウェアなどの悪質なプログラム）などの脅威から守るには、セキュリティ対策が必要です。特に業務で使用するパソコンが攻撃を受けた場合、機密情報の流出など深刻な被害をもたらし、金銭的な損失や社会的信用の失墜につながる可能性もあります。また、ウイルスに感染し、ネットワークを通じて社内システム全体に被害が広がると、復旧にかかる時間や労力の損失も甚大になります。このような事態を防ぐために、最低限必要な対策を紹介します。

## Windows Updateを実行する

Windowsにセキュリティ上の問題が見つかった場合、Windows Updateによって修正用のプログラムが配布されます。**更新を行わずに問題を放置していると、パソコンが脅威にさらされ、マルウェアの侵入や外部からの攻撃を受けるリスクが高くなります。**通常、Windows Updateは自動的に実行されますが、手動で行うことも可能です。休暇明けなど、しばらくパソコンを使っていなかったときは、仕事を始める前に手動で更新しておくとういでしょう。

### Point



Windows Updateを手動で実行するには、[設定] → [更新とセキュリティ] → [Windows Update] を開き、[更新プログラムのチェック] をクリックします。